

出向者紹介

～大久保貴紀君～

今月はLOMで副委員長を務めながら日本JICで委員会幹事として活躍する大久保貴紀君のレポートをお届けします。

―自己紹介をお願いします―

みなさまこんにちは！ 日本青年会議所 JICインテリジェンス確立委員会に会計幹事として出向している大久保貴紀です。LOMでは、会員拡大委員会 副委員長を務めております。

―JICインテリジェンス確立委員会について教えてください―

当委員会は、「JICとは？ JICマンに求められているものとは何か？」等を検証し、知行合一による自分づくりを目指すべく1会議・4委員会より構成されているJICプライド実践グループの中にあります。その中で当委員会は、つよいJAYCEEとして次代を切り拓いていくために必要なメディアリテラシーを含む知の力（インテリジェンス）を確立を目指しています。

―具体的事業は何をやりますか―

年間を通じメディアの情報分析能力を高めるためのワークショップを全国各地にて展開しています。サマーコンファレンスでは、セミナーを開催しました。今は全国会員大会那覇大会での最終事業にむけ七転八倒しております。



―サマコンでの事業はいかがでしたか―

サマコンではセミナーを開催しましたが正直非常に苦労しましたね。そもそも我々の委員会はマスメディア検証等の昨年度までの日本JICの流れの中、JICインテリジェンスという新たな命題がありまして、3副委員長がそれぞれの担いを持ちつつもサマコンの時点でひとつのセミナーとしてまとめ発表しなければならず、メディアリテラシーについての勉強会を展開しつつ、JICインテリジェンスの定義から真剣に議論しました。議案でも苦労しましたね、講師選定やコンプラ書類、財務等々。スタッフを中心にスタートした委員会でしたが、気づくと横浜メンバーが輪の中心にいました（笑）当日のリハーサルまでドタバタの状態だったので、すが何とかやり遂げる事ができました。苦労した分とても充実感ありましたね。

―スタッフが全国に散らばっている事で苦労はありますか？―

苦労ですか、そうですね…。やはり物理的な距離でしょうかね。メンバーが全国に散らばっているのが、なかなか一同に会う機会がとれず、ちょっとした打ち合わせや作業などを行うのが大変です。でも携帯やメールがあるので何ら問題ないですね。なかなか会う機会が少ないからこそ、その時間は大切に使わなければならない貴重な物なんです。皆が時間とお金をつかって全国から集まってくれた時間ですから。幹事としては、その時間を如何に有効に使えるか、会議だけでなく懇親会や2次会まで含めて意識しています。また、よくお互いのLOMの事について話したりしてるので各地のLOM情報について詳しくなったり、全国に仲間ができて本当に…。あれ！？質問にズレてしまいましたね（笑）

―委員会構成を教えてください―

委員長は札幌JIC、その他スタッフは大阪JIC、太田JIC、多治見JIC、旭川JIC、横浜JICからエントリリーしています。委員会総勢は48名。横浜からは小林常任理事を筆頭に、情報発信委員会より安達順子君、総務委員会より高田直史君の精鋭が出向しております。皆とても個性溢れる愉快な面々です！

―日本と横浜のダブルスタッフ考えるだけで大変かと思いますが―

よく言われます（笑）。LOMでは拡大委員会の副委員長を担当しておりますが梅澤委員長が理解のある方で出向に対し協力的な事が非常に助かっています。また、出向先でも小林常任理事をはじめとする横浜メンバーにとっても助けられており、忙しくも楽しい1年を過ごしています。

―LOMのメンバーへ一言―

昨年、徳増理事長が委員長を務めた領土・領海問題委員会に委員として初めて出向し、いろいろな意味で日本JICのスケールの大きさを感じました。今年はスタッフとして出向し、自分磨きに励んでます。出向に対し声を大にしてお伝えしたいことは、「出向の機会を掴んでください！」という事。上手に説明できませんが、出向した方しか味わえないことが沢山あります。楽しいことや辛いことは、自分の出向に対する姿勢で変わると思いますが、是非チャレンジしてください。

レポート／日本JIC関係委員会

岡野哲也